学校番号	209

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	音楽Ⅱ　Tutti　＋						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技、筆記テスト、レポートで評価します。
■個性豊かな表現に必要なピアノ、様々な楽器の奏法を身につけます。また、独奏・重奏・合奏、声や楽器を組み合わせた表現など様々な表現形態を学びます。
■音楽を形づくる諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら創造的な表現、主体的な鑑賞を行います。
■音楽が生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
1 年次よりも演奏における客観性と多様性、音楽様式、表現について理解を深め、演奏時に必要な技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】
音楽の様式や多様性、表現に関する思考力、判断力、表現力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】
個人の能力の向上をめざすだけではなく、他者と協力して課題に取り組む協調性を身につける

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技術を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				a	b	c
1学期	イメージをもって豊かな声で歌う。	【歌唱】 鱗	a: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせ，形式による違いを理解し，イメージをもって音楽表現をするために，必要な歌唱の技能を身につけている。 b: 速度，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受し理解しながら，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて，どのように歌うか表現意図をもっている。 c: 曲想と歌詞の内容，楽曲の背景とのかかわりを理解し，効果的に歌うことを主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取 筆記テスト 実技テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 実技テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 レポート
1、2学期	楽器の特徴を生かしたアンサンブルを楽しむ。 和楽器に慣れ親しむ。	【器楽】 大きな古時計 てぃんさぐぬ花 花 なごり雪 Jupiter	a: ピアノ、その他さまざまな楽器の奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ，個性豊かに表している。 b：リズム，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら，歌詞の内容をかかわらせて，様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽を工夫して，どのように歌うか表現意図をもっている。 c:ピアノ、その他さまざまな楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し，それらを生かして演奏することに関心をもち，主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取 筆記テスト 実技テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 実技テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 レポート

2学期	歌唱表現の工夫	【歌唱表現】 グループごとに曲を選択する。	a：曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせ，形式による違いを理解し，イメージをもって音楽表現をするために，必要な歌唱の技能を身につけている。 b：速度，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受し理解しながら，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて，どのように歌うか表現意図をもっている。 c：曲想と歌詞の内容，楽曲の背景とのかかわりを理解し，効果的に歌うことを主体的に取り組もうとしている	観察 ワークシート 演奏の聴取 実技テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 実技テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 レポート
	舞台芸術の世界	【舞台芸術】 ◎オペラ『椿姫』 ◎ミュージカル『キャッツ』	a：鑑賞にかかわる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 b：音色やリズム，速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら理解する。 c：オペラやミュージカルの舞台芸術の特徴を理解し，それらの文化的・歴史的背景や作曲家に関心をもち，鑑賞することに主体的に取り組もうとしている	観察 ワークシート 演奏の聴取 筆記テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 レポート	観察 ワークシート 演奏の聴取 レポート
3学期	音楽会を開こう 和楽器の響きと日本の音楽	【音楽発表】 これまで取り扱った教材より選択 【日本の音楽】 六段の調 人形浄瑠璃（文楽）『国性爺合戦』 日本の音楽	a：創意工夫をした音楽表現をするために，必要な歌唱や楽器，創作の技術を身につけ，個性豊かに表している。 a：日本の音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，日本の音楽の特徴を理解する。 b：グループで選曲，または創作した楽曲の特徴や雰囲気，楽器の音色や奏法，演奏形態な	観察 ワークシート 演奏の聴取 実技テスト 筆記テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 実技テスト	観察 ワークシート 演奏の聴取 レポート

			どを生かして，音楽表現を工夫し，どのように歌うか，演奏するか，また創作するか表現意図をもっている。 c：グループで選曲，または創作した楽曲の特徴や雰囲気，楽器の音色や奏法，演奏形態などを生かして，表現することに主体的に取り組もうとし，演奏発表会の企画・演出をすることに意欲的である。 c：日本の音楽の価値を考え、音楽に対する理解を深め，よさや美しさを主体的に聴いている。			

※　表中の観点について　a：知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度